

プレスリリース
報道関係各位

2026 年 7 月 21 日
サイバーソリューションズ株式会社

サイバーソリューションズ、
AI を活用した新セキュリティブランド「AiSE（アイシー）」を発表

～情報セキュリティ・ガバナンスの強化を支援する
AI セキュリティプラットフォームを提供～

法人向けメールシステムおよびサイバーセキュリティサービスを提供するサイバーソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：林 界宏、以下 サイバーソリューションズ）は、ビジネスコミュニケーション領域における AI を活用した新セキュリティブランド「AiSE（アイシー）」を発表します。

「AiSE」は、サイバーソリューションズが 20 年以上にわたり培ってきたメールシステム、メールセキュリティ、アーカイブ・監査ソリューションの知見と、生成 AI・大規模言語モデル（LLM）を融合した新しいセキュリティプラットフォームです。メールやチャットによる社内・社外とのビジネスコミュニケーションを AI が文脈レベルで分析し、情報漏えい対策、監査を高度化。安心・安全なビジネスコミュニケーション基盤を提供し、企業の情報セキュリティ・ガバナンス・内部統制の強化を支援します。

■市場背景

テレワークやハイブリッドワークの普及に伴い、社内・社外とのビジネスコミュニケーションの場は、メールに留まらずチャット等へ拡大しています。情報共有や重要な意思決定の場は複数のコミュニケーションチャンネルに分散し、その量と複雑性は年々高まっています。それに伴い、誤送信による情報漏えい、内部不正、コンプライアンス違反、ハラスメントなどのリスクが増大し、企業は対応を求められています。従来のキーワード検知や固定ルールによる監視では情報の背景や意図を十分に把握することが難しいため、お客様から新たなリスク分析手法提供への期待が高まっておりました。

■AIを活用した新セキュリティブランド「AiSE」について

上記の課題に対し、サイバーソリューションズは、ビジネスコミュニケーションのリスク分析手法を「ルールで検知する」から「AIが文脈を理解して判断する」へと発展させ、その提供基盤として新セキュリティブランド「AiSE」ブランドを立ち上げました。

「AiSE」は、AIがメールやチャットの内容、コミュニケーション相手との関係性、過去のコミュニケーション履歴などを総合的に分析し、人間の判断に近い形でリスクを評価します。利用者の利便性を損なうことなく、情報漏えい対策やコンプライアンス対応を強化し、安全で生産性の高いビジネスコミュニケーションの実現を支援します。



（ブランドロゴの「多層構造のブルーダイヤ」は、AIによる多層防御と継続的なリスク分析を表現しています。）

■「AiSE」シリーズの製品展開について

●AI メール誤送信対策

AiSEシリーズ第1弾として、AIメール誤送信対策の提供を準備中です（2026年9月1日よりリリース予定）。

メール本文、添付ファイル、宛先情報、過去のコミュニケーション履歴などをAIが総合的に分析し、送信内容の妥当性をリアルタイムで判定します。

従来のルールベース製品では検知が難しい、

- 取引実績のない宛先への送信
- 機密文書の誤送付
- 不自然な送信パターン
- 業務文脈と一致しないメール送信

などを文脈に基づいて検知し、情報漏えいリスクの低減を支援します。（特許申請中）

●AI メッセージ監査サービス

AiSEシリーズ第2弾として、AIメッセージ監査サービスの提供を今秋予定しております。

メールやビジネスチャットなどのコミュニケーションデータを継続的に分析し、不正行為、コンプライアンス違反、ハラスメントなどの潜在リスクを早期に発見します。単純なキーワード抽出ではなく、文章に含まれる意図や感情、表現のニュアンスまで分析することで、従来見逃されていたリスクの可視化を実現します。また、組織全体のコミュニケーション状況をダッシュボードで把握でき、監査業務の高度化・効率化に貢献します

■今後の予定

AiSE シリーズは誤送信対策・監査サービスの他、AI セキュリティサービスを順次リリース予定です。

(本プレスリリースに関するお問い合わせ)

営業本部 マーケティンググループ 広報担当宛

03-6809-5858 または <https://www.cybersolutions.co.jp/inquiry/>

※本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

※リリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様などの情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。